

# 平成26年度採択 「複合材パネルのトリム作業自動化を目的としたトリムライン自動検出法の開発」 株式会社ダイチテクノス（大阪府） 主たる技術：測定計測

- ・製造コスト削減が要求される中、各製造工程での自動化は必須である。  
当該研究開発では、品質管理のための検査工程における計測作業の省力化を目指し、『任意位置、任意方向にセットされた』『サイズの大きな製品を』『規定された公差内で』計測できる非接触型3次元計測装置の開発を実施。

## 研究開発の成果

### ■ 技術目標

全空間テーブル化手法の基礎技術をベースに、位相接続の技術確立により高さのある製品の計測、また画像重ね合せの技術確立により大きな製品の計測を精度良く実施できる手法を確立した。

### ■ 検出精度目標

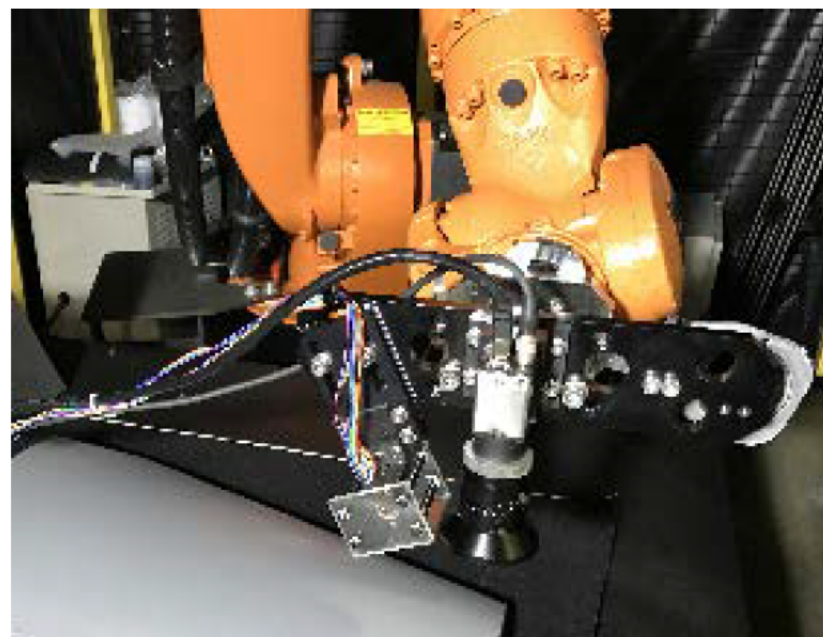
・トリムライン：公差0.8mmに対し、測定精度の目標値：0.1mm

・曲面形状：公差0.8mmに対し、測定精度目標値：0.4mm

を目指したが、達成できなかった。ただ、その原因は究明できており、検討した対策を推し進めることで精度目標の達成は可能である。

### ■ コスト低減目標

全空間テーブル化手法の適用により計測時間短縮が達成でき、また作業内容も被計測物を所定のテーブルに置くだけになり作業工程が簡略化したため、設定した原価低減目標は充分達成できる見通しができた。



## 研究体制

株式会社ダイチテクノス（事業管理機関、法認定中小企業）

株式会社マルイ、株式会社エムキューブ、  
国立大学法人福井大学、国立大学法人和歌山大学

## 当該研究開発の連絡窓口

株式会社ダイチテクノス 代表取締役 森和重

E-mail : [k.mori@d-technos.co.jp](mailto:k.mori@d-technos.co.jp)

[k.takahashi@mqb.co.jp](mailto:k.takahashi@mqb.co.jp)

電話番号：06-6655-3224